



2025 年 5 月 12 日

コスモ石油株式会社

日揮ホールディングス株式会社

株式会社レポインターナショナル

合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

SAF 原料化を目的とする食用油の回収拡大に向けて
東京都の世界陸上を契機とした「家庭の油 回収キャンペーン」と連携

コスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司、以下「コスモ石油」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、ならびに株式会社レポインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レポインターナショナル」）は、2025 年 5 月 2 日から東京都が実施している「家庭の油 回収キャンペーン」※1 と連携して、SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）原料化を目的とする家庭系廃食用油の回収拡大に向けた取り組みを開始しましたので、お知らせします。

コスモ石油、日揮 HD、レポインターナショナルは、東京都が推進する「廃食用油回収促進に係る事業提案」に採択され、2023 年 8 月に東京都と協定を締結※2 しました。以降、東京都との協定に基づく取り組みを開始し、2024 年 3 月には「東京 油で空飛ぶ 大作戦～Tokyo Fry to Fly Project～」を展開していくことを発表し、都内での廃食用油回収促進を進めてまいりました。

今年 9 月に開催される東京 2025 世界陸上では、200 を超える国・地域から約 2000 人のアスリートが東京に集まります。アスリートの移動にも使われる SAF の活用に向け、東京都は東京 2025 世界陸上与連携した「家庭の油 回収キャンペーン」を展開しています。

このキャンペーンで回収された廃食用油を、コスモ石油、日揮 HD、レポインターナショナルが出資している SAF 製造事業会社である合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）において SAF に精製し活用することで、航空機から排出される CO2 削減に貢献します。コスモ石油、日揮 HD、レポインターナショナルは、今後も東京都との連携などにより、SAF の普及を通じて持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

【各社の役割について】

東京都は、都庁舎や区市町村に廃食用油の回収所を設置し、回収を呼び掛けます。

日揮 HD は、回収に必要な備品発注等の協力を行い、レポインターナショナルが廃食用油を回収します。SAFFAIRE SKY ENERGY は国内唯一の SAF 大規模製造設備（大阪府堺市）において、廃食用油から SAF を精製します。コスモ石油は航空会社への SAF 供給を行います。供給された SAF の一部は羽田空港において使用される見込みです。



【実施期間】

2025（令和7）年5月2日（金）から10月31日（金）まで

【回収場所】

（1）区市町村

都内約 80 か所

具体的な回収場所は、東京都環境局及び各区市町村のホームページをご覧ください。

東京都環境局ホームページ：

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/wastecookingoil/>

（2）都庁舎

東京都庁第一本庁舎 2 階北側 展示スペース

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

コスモ石油、日揮 HD、レポインターナショナルは 2020 年から共同で SAF のサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業に採択※3 されました。2022 年 11 月 1 日付で新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立、年間約 3 万キロリットルの SAF 製造設備を 2024 年 12 月に完工し、2025 年 4 月から SAF 供給を開始しました。供給する SAF は、持続可能な製品の国際的な認証制度である ISCC CORSIA 認証、ISCC EU 認証を取得済みであり、本認証取得により原料から供給まで国内で完結する国産 SAF の提供体制が国際的な基準で認められています。



完工した SAF 製造装置
（コスモ石油堺製油所構内）



SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設
（コスモ石油堺製油所構内）

【東京都の廃食用油回収促進に係る事業】

日揮 HD とレボインターナショナルは、コスモ石油と共同で、東京都が推進する「廃食用油回収促進に係る事業提案」に採択され、2023 年 8 月に東京都と協定を締結しました。この協定は、SAF の原料となる廃食用油回収の拡大を図り、SAF 製造へつなげる新たなサプライチェーン構築の推進を目的としています。本事業では、東京都と共に、2023 年 8 月から 2026 年 3 月にかけて「家庭系廃食用油の回収」「SAF 製造・利用に関する教育活動」「SAF イベント・キャンペーンの実施」「回収した廃食用油の SAF 利用可否に関する検討」という 4 つの取り組みを推進しています。また「東京 油で空飛ぶ 大作戦～Tokyo Fry to Fly Project～」の一環として、コスモエネルギーグループの東京都内サービスステーションで廃食用油の市民回収実証※4 を行っています。東京都ホームページ：<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/wastecookingoil>

※1 2025 年 5 月 2 日 東京都プレスリリース：

[SAF 原料用家庭の油 回収キャンペーンを開始|5 月|都庁総合ホームページ](#)

※2 2023 年 8 月 3 日 東京都プレスリリース：[廃食用油回収促進に係る事業の協定締結について](#)

※3 NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

※4 2024 年 6 月 24 日プレスリリース：

「日本初 SAF 原料化を目的としたサービスステーションでの市民回収実証を開始」

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2024/240624-01.html>

以上